

FAWA in Guam 2012 相互理解をし、共に未来を築く
～国際平和への第一ステップ～



「アジア・太平洋の女性の相互理解と連携を深めることが大切です」

尾崎行雄先生の三女相馬雪香先生が起案したアジア太平洋の女性が集いお互い協力しながら女性のエンパワーメントを高めることを目的とするアジア・太平洋女性連盟国際会議 (FAWA) の総会は今回 20 回目を迎えグアムで開催されました。日本代表として参加した一冊の会、今年は石田尊昭理事を先頭に若き男性も参加し一緒になって女性のエンパワーメントを高める為にこれからどうしたら良いかを学び、考える大変良い機会となりました。

10月26日の開会式では各国が民族衣装に身を包む中、一冊の会若者は色鮮やかな振り袖、先輩方は着物を召して臨みました。式幕開け、国旗と共に各国代表が入場をし、FAWAの旗・米国旗に続き日の丸が現れました。日本国旗はFAWA一冊の会ヤング代表の瀧川さんが責任を持って日本から「日本の魂」と共に会場まで運びました。若い世代も先輩方と一緒に活躍させて頂き、私もヤングの一員として使命の庭で乱舞することが出来ました。式典では大統領選挙中にも関わらず米国オバマ大統領、ヒラリー・クリントン国務長官からメッセージが届き紹介されました。クリントン国務長官からは FAWA Sisters (FAWA 加盟メンバー) が女性の地位向上の為努力していることを誇りに感じている、女性がお互い協力し合って一緒に未来のビジョンを築いていきましょう！と力強く且つ温かいお言葉を賜りました。

開会式後のカントリーレポートでは、一冊の会日本代表は嬉しいことに一番手を務めました。大槻会長がまず東日本大震災後、アジア・太平洋各国からの支援に心から感謝の意を述べ、その後一冊の会の活動を三坂 FAWA 事務局長が代読。台湾で2010年に行われた FAWA を“宙 (そら)” という名前をつけた報告書に纏めたことを紹介、その後東北被災地に対して衣食住の支援、また「持続可能な支援活動」の一部として被災地の子どもたちに対する図書カードや本の寄贈の活動報告、さらに被災地に設置し「希望の光」として蓄電池＝雪香灯の説明もしました。スライドを用いて被災地の実情の変化に応じて一冊の会では支援活動を変えていったことを話すと会場にいた多くの方が真剣に聴講して下さいました。持続可能な支援を多くの方が理解して下さい今後お互い助け合える世界になったら本当に幸甚で御座います。



27日には FAWA のメインイベントである Workshop が 4 つのテーマに分かれ開かれました。「Women in the Modern World」では大槻会長の好意により、私は副議長を務めさせて頂きました。それぞれの国際会議での分科会終了後皆それぞれいろんな意味で成長することが出来たと、顔を輝かせておりました。28日の夜の閉会式では一冊の会では 100 個の風鈴と共にパフォーマンスをしました。関西クラブと共に会場を囲み、振り袖を着た若者を中心に「おひなさま」と「さくら」の歌をバックに踊りを舞いました。

4日間の FAWA 国際会議に参加して私は大切な FAWA の意義に達することが出来ました。それは【国際平和】です。女性が能力を最大限に生かした社会は、女性がより良い環境の中でより良い成果を収めることが出来ます。それは経済の発展を導き、経済復興を意味します。更に優しい心を持った女性は優しい心を持った子ども男性を育み、慈しみます。経済的・精神的に満たされた社会は【真の平和】そのものです。女性のエンパワーメントを目指すことは、最終的にはより良い世界を築き、国際平和への大事な第一ステップなのです。

『人生の本舞台は常に将来にあり』

『無形の財産たる知識経験は人生の積み重ねにより益々豊富となる』

今回 FAWA 総会にヤンググループ代表として参加させて頂いたことに責任感と使命感を常に抱き、女性の地位向上や子どもに対する支援を通じて尾崎先生・相馬先生が目指した国際平和に貢献したいと今強く思います。

櫻華塾グローリア部 村岡 清佳